

都市再生整備計画

ちくぜんまえばるえきしゅうへんちく
筑前前原駅周辺地区

ふくおかけん いとしまし
福岡県 糸島市

令和6年 3月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	<input checked="" type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	<input type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input checked="" type="checkbox"/>

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	福岡県	市町村名	糸島市	地区名	ちくぜんまえばるまきしゆうへん ちく 筑前前原駅周辺地区	面積	40.0 ha
計画期間	令和 6 年度 ~ 令和 9 年度	交付期間	令和 6 年度 ~ 令和 9 年度				

目標
<p>【大目標】 筑前前原駅周辺の賑わい創出と居心地よく歩いて暮らせるまちづくり</p> <p>目標1 既存ストックの有効活用による利便性の向上</p> <p>目標2 各拠点施設の魅力及び賑わいの創出と回遊性の向上</p>

目標設定の根拠
<p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>【まちづくりの経緯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筑前前原駅周辺地区の国道202号と市道前原駅筒井原線ほか2路線沿線には、糸島市役所、伊都文化会館、糸島市図書館、糸島警察署の行政機能が金融機関、店舗、飲食店などの商業機能が集積しており、国道202号北側の旧唐津街道沿線にある古くからの商店街は、江戸時代、宿場町として賑わっていたころの歴史的雰囲気建物を有する地区である。 ・本地区は、「第2次糸島市長期総合計画」及び「第1次糸島市都市計画マスタープラン」において、広域拠点に位置づけられており、糸島市の玄関口として、商業、業務の集積を図るとともに、多様な人々が集まるまちづくりの核となる施設や、公園、広場の整備を実施し、賑わいの創出と居心地良く歩いて暮らせるまちづくりを目指している。 ・これまで平成27年度に糸島市図書館の移転、広域拠点での安全な歩行者空間の整備の取組みとして、市庁舎、伊都文化会館、人権センター、図書館などの公共施設の段差解消及びエレベーターの設置、筑前前原駅の自由通路にエレベーター及びエスカレーター設置、周辺道路の歩道に点字ブロックの整備等を実施し、子どもから高齢者までの市民一人一人が安心して、教育や文化、芸術に触れる機会を創出できるまちづくりを進めてきた。 <p>【現況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糸島市役所は老朽化により新庁舎を隣接地に建設し、令和6年1月より開庁している。
<p>課題</p> <ol style="list-style-type: none"> ①老朽化している公共施設が点在していることで、多くの維持管理費が発生しており、また施設間の移動において利便性が悪い。 ②商店街に立地していた大型商業施設が平成25年に撤退したことを機に中心市街地の賑わいが減少している。 ③本地区は第一次糸島市都市計画マスタープランにおいて、本市の玄関口となる広域拠点として位置付けているが、人通りが少なく周辺施設間の回遊性が悪い。 ④筑前前原駅から糸島市役所等の公共施設への重要なアクセス道路(市道前原駅筒井原線ほか2路線)は、歩道幅員が1.5m程度と狭く、勾配が急な箇所が多く危険。
<p>■第1次糸島市都市計画マスタープラン(2013(H25)-2030(R12))(平成25年3月策定/令和3年3月改定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街地の無秩序な拡大を抑制するとともに都市機能を集約させ、歩いて暮らせるまちづくり『集約型都市構造』を目指している。 <p>■第2次糸島市長期総合計画(2021(R3)-2030(R12))(令和2年12月策定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6つの基本目標の1つとして、「快適で住みよいまちづくり」を掲げており、自然と都市の調和を図り、地域資源を生かしながら、都市部、農村部、漁村部、山間部など、各地域の特色に応じて、住環境や生活環境の快適性を高めていくことを目指している。 ・筑前前原駅は、前原地域における広域拠点であり、良好な住環境の創出と都市的土地利用の促進、道路などの安全対策とバリアフリー化、都市の骨格となる道路ネットワークの整備、公共交通網の充実、快適な公園の整備、周辺施設との一体性を図り、快適で安全・安心な、人が集まりやすい環境づくりを進める。

一体型滞在快適性等向上事業及びまちなかウォーカブル推進事業の計画 ※一体型滞在快適性等向上事業の場合もしくはまちなかウォーカブル推進事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。
<p>滞在快適性等向上区域の考え方</p> <p>筑前前原駅を拠点とし、筑前前原駅北側の市道(市道前原駅筒井原線ほか2路線)約1kmを目安に滞在快適性等向上区域を設定し、歩道の幅員などによりゆとりある歩行者空間を確保するとともに、既存ストックを活用して賑わいを創出し、居心地よく歩いて暮らせるまちづくりを目指す。</p> <p>■滞在快適性等向上区域での取組み</p> <p>市道前原駅筒井原線ほか2路線の歩道の幅員を行うことにより、ゆとりある歩きやすい歩行者空間を創出する。</p> <p>また、ゆとりある歩きやすい歩行者空間の創出にあわせて、公共施設の複合化や公園・広場を整備し、賑わいの場を創出する。</p> <p>市道沿線事業者や商店街等と連携し、賑わい創出の取組みやイベント等をワークショップで検討し、社会実験を行う。社会実験によって有効な取組みについては、持続可能な取組みとする運営体制の構築に向けた検討を行う。</p>

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
整備した広場と公園の利用者数	人/日	整備した広場と公園の利用者数	・広場・公園が新しく整備されることで、利用者数が増大し一体的な賑わいが創出される。	176人	R元年度	253人	R9年度
複合化施設利用者数	人/年	複合化施設の利用者数	・公共施設の集約・複合化を行うことで機能の拡充及び多様なニーズの対応が可能となり、市民の利便性が向上し、施設利用者の増加が期待される。	59,982人	R4年度	87,952人	R9年度
沿線道路の歩行者通行量	人/12h	公共施設や商業施設等の生活関連施設を結ぶ路線の歩行者量	・公園、広場等の公共施設を上質化・改修することで、各拠点からの歩行者量が増加し、中心市街地の回遊性が向上する。	781人/12h	R5年度	963人/12h	R9年度
市民満足度	%	アンケート調査における高評価割合	・都市再生整備計画内の事業が実施され、中心市街地の賑わいが創出されることで市民満足度が向上し、市民のまちづくりに対する意識の醸成が期待される。	17.8%	R5年度	36.0%	R9年度

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1【既存ストックの有効活用による利便性の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎整備後、市内に点在する男女共同参画センター等の公共施設を現在の市役所(旧庁舎)に集約・複合化し、市民の利便性の向上を図る。 ・道路整備を行うことで新庁舎及び公園・広場との一体的な空間が創出され、地域住民の安全性及び利便性を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【基幹事業】(既存建造物活用事業)(仮称)市民・人権センター改造事業(公共施設複合化) ・【基幹事業】(道路)道路整備事業(市道西町公園線)
<p>整備方針2【各拠点施設の魅力及び賑わいの創出と回遊性の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丸田池公園や広場を整備することにより、機能強化及び利用者の滞在時間が増加し、賑わいが創出される。 ・市道西町公園線の道路整備において、丸田池公園の園路へ誘導させる歩道を設置することで、中心市街地(商業飲食店エリア)までの安全・安心で快適な歩行空間が確保され、拠点間の回遊性が向上する。 ・歩きたくなる仕掛けの一つとして当該区域の各拠点施設(複合化施設、公園、広場、店舗)を充実させ、回遊性の向上を図る。 ・関連事業として、当該区域における、市道前原駅筒井原線ほか2路線のバリアフリー化により、安心して安全に生活できる歩行空間を形成するとともに、歩道を2.5mに拡幅させ、公共施設と店舗間の回遊性を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【基幹事業】(公園)丸田池公園整備事業 ・【基幹事業】(地域生活基盤施設)広場整備事業 ・【基幹事業】(滞在環境整備事業)ワークショップ ・【基幹事業】(滞在環境整備事業)社会実験 ・【提案事業】(事業活用調査)事業効果分析調査 ・【基幹事業】(道路)道路整備事業(市道西町公園線) <ul style="list-style-type: none"> ・【関連事業】(道路)前原駅筒井原線他2路線道路空間再生事業 ・【関連事業】(道路)前原駅筒井原線他2路線無電柱化整備事業
<p>その他</p>	
<p> </p>	

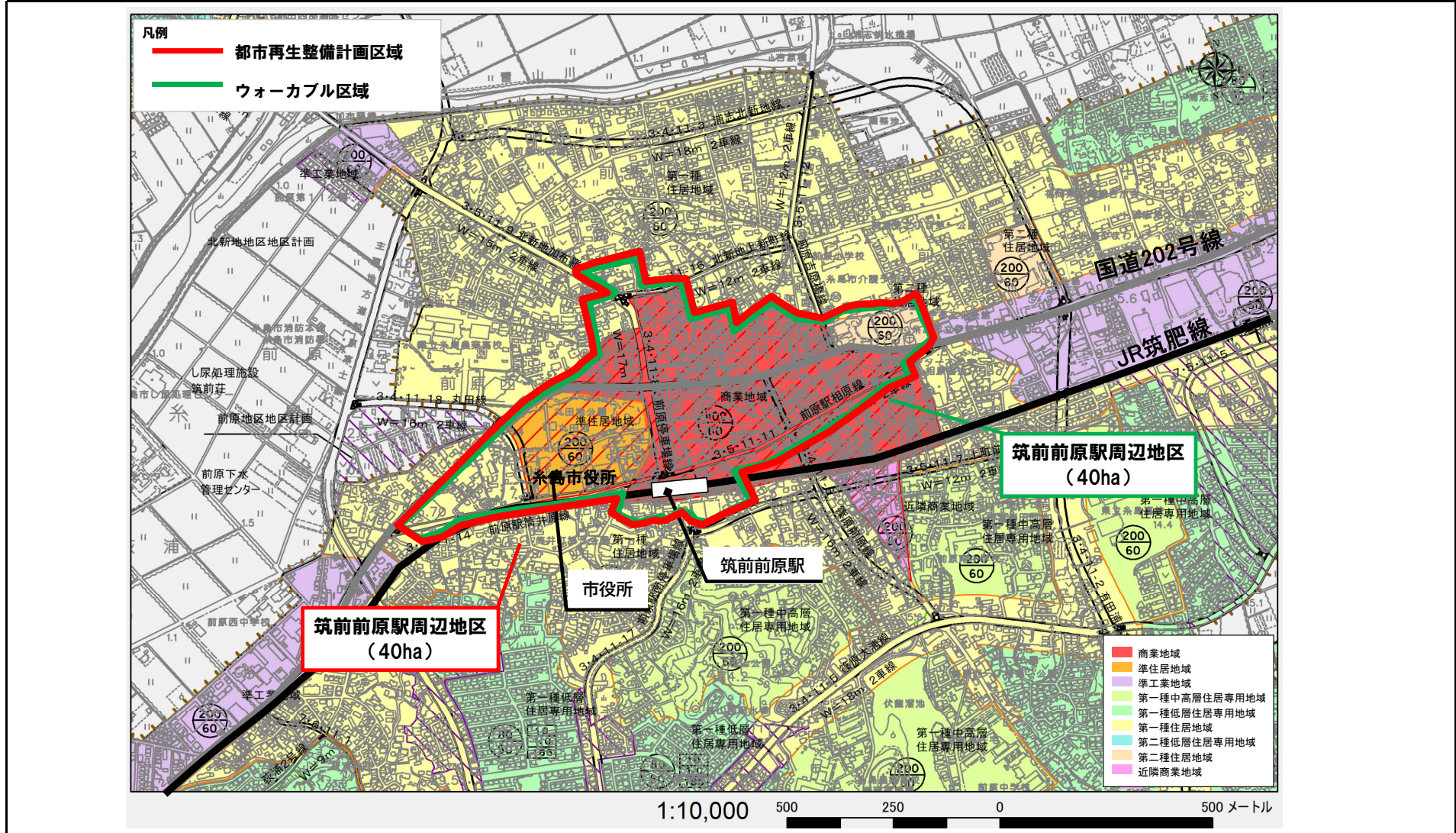
筑前前原駅周辺地区(福岡県糸島市)

面積

40(40) ha

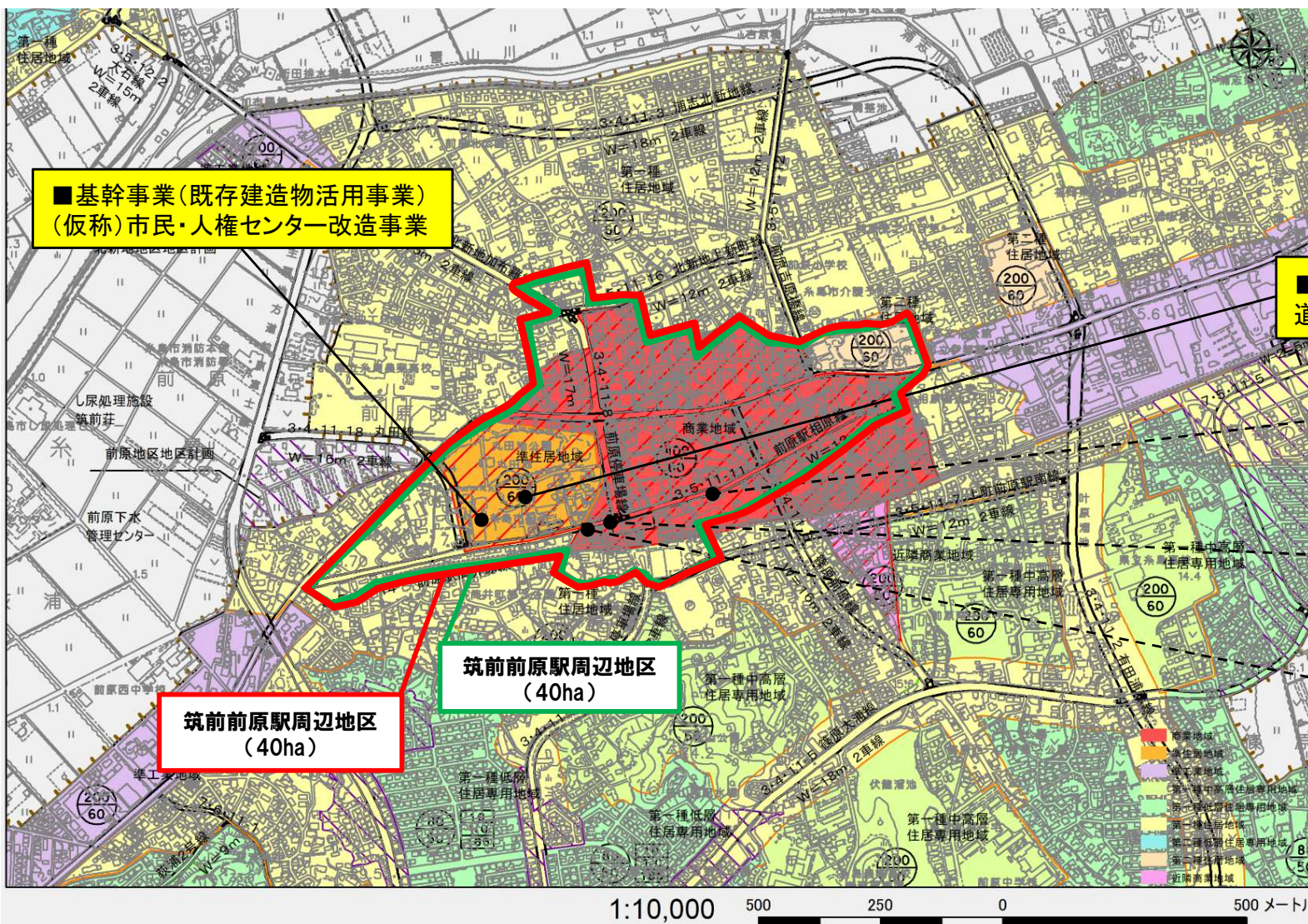
区域

筒井町・前原西町・北新地・北本町・前原東町・上新町・上町中央・上町・老松町・南本町・笹山町の一部



筑前前原駅周辺地区(福岡県糸島市) 整備方針概要図(都市再生整備計画事業)

目標	【大目標】筑前前原駅周辺の賑わい創出と居心地よく歩いて暮らせるまちづくり 目標1: 既存ストックの有効活用による利便性の向上 目標2: 各拠点施設の魅力及び賑わいの創出と回遊性の向上	代表的な指標	整備した広場と公園の利用者数 (人/日)	176 (R元年度)	→	253 (R9年度)
			複合化施設利用者数 (人)	59,982 (R4年度)	→	87,952 (R9年度)
			沿線道路の歩行者通行量 (人/12h)	781人/12h (R5年度)	→	963人/12h (R9年度)
			市民満足度 (%)	17.8% (R5年度)	→	36.0% (R9年度)



- 関連事業(まちなかウォークアブル推進事業)
- 関連事業(道路) 前原駅筒井原線他2路線 無電柱化整備事業
- 関連事業(道路) 前原駅筒井原線他2路線 道路空間再生事業

凡例	
	基幹事業
	提案事業
	関連事業

筑前前原駅周辺地区(福岡県糸島市) 整備方針概要図(まちなかウォークアブル推進事業)

目標	【大目標】筑前前原駅周辺の賑わい創出と居心地よく歩いて暮らせるまちづくり	代表的な指標	整備した広場と公園の利用者数 (人/日)	176 (R元年度)	→	253 (R9年度)
	目標1: 既存ストックの有効活用による利便性の向上		複合化施設利用者数 (人)	59,982 (R4年度)	→	87,952 (R9年度)
	目標2: 各拠点施設の魅力及び賑わいの創出と回遊性の向上		沿線道路の歩行者通行量 (人/12h)	781人/12h (R5年度)	→	963人/12h (R9年度)
			市民満足度 (%)	17.8% (R5年度)	→	36.0% (R9年度)

